
CLANNAD
-クラナド-
オフィシャルコミック 4
原作:KEY
漫画:みさき樹里
CR COMICS

CLANNAD
-クラナド-
オフィシャルコミック 4

原作：KEY
漫画：みさき樹里

CR COMICS




CLANNAD
-クラナド-
オフィシャルコミック 4

Contents



第20回
～再出発～




学校卒業式
絶対また遊ぼうね
うん連絡するから
忘れたりしないでね私の事
こっちこっち～
ほら写真とるわよ入って入って！
また…みんなで遊んだりしましょうね
約束…なの…
サァ…



そうか…寂しくなるな
よかったらまた遊びに来てくださいね
またたまに連絡くらいしてよね
——卒業
おめでとうございます
——な


なぎ――…
がばっ
――あ
夢…
がしがし
シャッ
ふぁ…
そっか…
もう学校へ行く事もないんだな
――俺は高校を卒業していた
…毎日面倒だと思っていたにもかかわらず卒業したとたん懐しく感じてしまうのは不思議だ
夢にまで見ちまった…
う〜ん
嫌いでもなかったって事か…？


おはようございます
朋也さんおはようございます
あ 俺代わります
はい それじゃお願いします
ぎぎーーん
相変わらず独創的なパン…
──あ そうそう 忘れないうちに…
ぱ〜んだ
はいっ 朋也さんの分のエプロンです
……パンダっすか……
やけにかわいい
はい 秋生さんのおさがりです
これでみんなおそろいですねっ
…ありがとうございます
卒業して数日経った頃──……


まともな就職活動なんかしていなかった俺は途方にくれていた
小僧 行くアテないならしばらくウチで働くか？
そこへ願ってもいなかったオッサンの提案
…それは嬉しいけど…
いいのか…？
ああ そうすりゃ早苗の塾も時間増やせるしな
そんかわし時給はメチャ安いぞ覚悟しとけ
改めてすげー人たちだった
俺の事を家族同然のように接してくれるのが嬉しい——けど…
何から何まで世話になりっぱなしだ…
——情けない…
どうかしましたか？
いえ…
ぬっ
おいコラ 小僧



オッサン
てめー…今早苗のパン見て失礼な事思ったろ
なんだよ失礼な事って
見た目が独創的なら味も前衛的だな——とかそういうのだ
…いや思ってない…
そこまでは
嘘つくなよコラ!
正直作業工程も前衛的だったぞ
——ていうか早苗さんそこにいるからな
さっきから
なに…っ!?
う…
うう…っ
私のパンは…
じわ…
ゴゴゴゴゴ
わあああん
私のパンは前衛的だったんですね——っ!!
さ…っ早苗ぇ——!!!


わぁぁぁ
……
小僧…
時給200円上げてやろう
パンやるぞ 食え
断る…
ああ…さっきの自分がバカみたいだ…
わぁぁぁん
…元はと言えば小僧がオカシイ事言うからだろ
コノヤロウ
…ちっ
どう考えてもあんただっ
後は頼むぞ…!
ぱく…
早苗――っ!! 俺は大好きだぁぁぁ――!!!
だだだっ
…やれやれ
慣れた
お疲れさまです 朋也くん
よう 渚



散歩してたのか？
はい 今日は天気もいいので
春休みに入ってやっと渚の熱は引いた
この分なら新学期から登校できるだろう
さっきお父さんたちが見えました
いつものだよ 気にすんな
そうですか 朋也くんのエプロン似合ってます
かわいいです
あら 今日はお休み…？
あ いらっしゃいませ やってます
お手伝い？えらいわねー
いえ・
…………
悪くない――…
穏やかな時間が流れていた


チュー
チュー
すぅーーっ
……それでは
いってきますっ
いってらっしゃい
無理すんじゃねぇぞ
はい大丈夫です
…忘れ物とかないよな？
あとクラス分け知ってる奴がいればいいな
あと…
クスッ
あ…すみません
なんだか朋也くんお父さんみたいでつい…
おと…
ピシッ


いってきます
――ああ いってらっしゃい
…心配しすぎか…
がんばれよ 渚――……
――そうだ 立ち止まってしまった 1年前とは違う
ここから また 再出発だ
たっ…


どうも～
ありがとう ございました
朋也さん お茶どうぞ
だいぶ 慣れてきた みたいですね
あ…
まあ春休みから やらせて もらってるんで
―本当 お世話に なりっぱなしで 申し訳ないっス
ふふ…
私 ずっと あの子に お弁当を持たせて あげたかったんです
朋也さんのおかげで 今日それが 叶いました
ありがとう ございますね
―いえ
…きっと 渚も学校で 元気になると 思いますよ


——そうあってほしいと
願っていた
ぎゅ…
——渚
俺だ
入っていいか?
あ…はい
どうぞ…
ただいまです
——大丈夫か?
いや…なんか
夕飯の時
元気なかった
気がしてさ…
朋也くん…



――そっか…
クラス替えは知ってる奴いなかったか…
――はい
仁科さんたちや坂上さん…
みんな分かれてしまいました
しゅん。。。
――どうして
周りはみんなグループができてて…
わたしは2年も年が離れているので
話題に入って行けないような気がします
――そんなひとつやふたつくらい変わらねえだろ…
渚の前にはいつも困難ばかりあるんだろう
…でも
みんなその事を知っているので――…
こいつは普通の学校生活を送りたいだけなのに――…
――あぁ…


——あ…
でも今年は正規のやり方で演劇部が作れるんじゃないか——？
——あ
——…
…な 渚
——はい
もう一度頑張ってみたいです
——きっと同じ気持ちでいたと思う
できるならまた楽しく過ごしたいんだ
その日から再び渚の演劇部への活動が始まった



お父さん
お母さん
いってきますっ
朋也くん いってきますね
——あ
お おう
え…
渚っ
いってらっしゃい!
——はいっ
——かといって
俺に何か してやれる事が あるわけでもなく
せいぜい毎日 見送って やる事しか…


ジ…
あの頃は まだよかった
馬鹿やって 何もなくても そばにいられた
今は違う
ーー今 そばに いてやれない事が
こんなに もどかしいなんて
ーーそれじゃあ 何かあれば 呼んでくださいね
はい


パタン…
——さて
何するか…
むむ…
早苗さんは休憩
オッサンは何故か
バット片手に
公園へ——…
何考えてんだ
あの人は…
チラ…
ぶっちゃけ
ゴッ
まだ
2時前…!!
すげー
ヒマです
…朝は結構
忙しいんだけど
昼はマシで
する事ねえな…
べた——っ
最後のパンも
出しちまったし
値段と種類も
あらかた覚えて
きたからな…
レジ打ちは
客が来ねーと
できねえし…
——仕方ない…
掃除でもやるか…
カシャン
——ん?


――なんだ？
モメてんのか？
どうしたんだろう――…
おーお！怒ってる怒ってる
ん 何かに気付いたぞ
――あ オッサンが謝って帰ってく…
チラ
チラ
ブロロロ…
なんだったんた…？


…マズいな
このままだと……
悪いが
少し手伝ってくれないか——?
おい
そこの人
?
…な!?
俺!?
——あ…!?
——ん?



…そうか
あのとき奔走してくれていた少年か
カチャ
カチャ
思えば君とはロクに顔も合わせてないままだったな
いえ…まさか公子さんの彼氏にまた会うとは…
全く…偶然だったな…
ブルブル
なんでこんな事に!!?
悪いな…普段はふたりでやる事なんだが相方が休みでな
ああ…
ひとりでもなんとかなるんだが——…
あのオッサンめ…!
た…助かった〜…
大ゲサだな…
——よし
もう いいぞ
ドキッ
…しかし
この人はいつもこんな事しているのか…?
変な体勢で力入れてたから腕も足もパンパンだ
ドキドキ


情けないな
俺——…
すまない
連絡を入れてたんだ
今日は助かったよ
芳野だ
改めて礼を
言わせてくれ
ありがとう
——あ
岡崎ッス
礼って
改めて言われる
ような事は——…
ふっ…
岡崎と
言ったか…
——お前に
大切な人がいるなら
きっとわかる…
人は 愛なくしては
生きてゆけない
事が——…
愛してる人と
共に歩んでいく日々…
それこそが
かけがえのない財産…
いいか忘れるな…
その大切な人
けして離しては
いけないぞ——…
はぁ…
それはギャグで
言っているのか!?



ここは笑う所だったのか…?
そうそう
上の人に話したらバイト代くらいは出せるそうだ
え!?
全額とはいかないが多少なりとも…
…不服か?
い…いや とんでもないっ!!
えっと… 本当に…俺なんかがいいんですかね…
出すと言ってるんだ おとなしくもらっとけ
初めてにしては それなりに動いてた方だぞ
はっ…
そして夜
ぴらっ
うーん
しかし予想外に多くもらってしまった
これで全額じゃないってんなら 一日…いや一ケ月で どのくらいになるんだ?
ヘタすりゃ 自立するのも 夢じゃない——…
——なんて
芳野祐介


芳野さんは事もなさげにこう言ったんだ
この後まだ1件残ってるんだ
バイト代はその後にでも持ってこよう
…冗談じゃない
こんな仕事をあとひとつ…
いや その前にもいくつこなしてたかわからないのに
なんだ 気落ちするな こういう仕事だ
慣れれば どうって事ない
ぎゅっ
——現実を
つきつけられたような気がした
社会はもっと厳しくて 働く事の辛さはこんなモンじゃないって
——俺は今まで楽な方 楽な方へ逃げて——…
それでもこのまま生きていくのか!?


カタン
渚
あ…
——部活説明会？
はい…


去年は練習だけしてそのままでしたから…
——そういやそうだったな
はい
今年はちゃんと新入生全員の前でできます
——っああ…!!どうしましょう…緊張します…っ!
へにゃ
へにゃ
おいおい
今から そんな事言ってどうすんだお前
大体 説明会が終っても部員がいなきゃどうしようもないだろ?
あ…はい そうです
入部できる期間は決まってますから
その間に部員数が3人集められなきゃ即廃部になってしまうらしいです
3人か…
大丈夫だろ お前かわいいからさすぐ3人くらい集められるよ
え
そんな事…!?
なっ
ボッ
ぼぼぼぼ
あありがとうございます〜〜!!
ああ 俺だったら即入部してるな


ウソですっ 朋也くん なかなか入部してくれなかったですっ
え？ そうだっけ？
そうですよっ
——とりあえずさ
去年ちゃんと練習したんだ
心細くないはずがない
思い出してやれば絶対大丈夫だって
だけど渚は一言も泣き事なんて言わなかつた
——はい
俺に心配かけさせまいと ひとり地道に頑張つたんだ


数日後
説明会が行われた
演劇部
部員募集!
合唱部
来たれ!!
剣道部!!
美術部
そして
それからまた
数日後——…
…仕方ないです…
演劇なんてもう
流行らないのかも
しれません——…
入部希望者は0
演劇部は正式に
廃部が決まった
のだった
渚はあまり
学校の話をしなくなった
それでも毎日
休む事なく
登校する渚を見て
——俺は
どうしたいんだろう…


ん
……ふうっ
――あれは…
芳野さん…!?



本人だって
ちゃんと見えたわけじゃない
背格好が似てる
だけかもしれない
——でも今
ここで行っとかないと
絶対後悔する!!
あの時から
ずっと抱えてきた
胸のつかえ
それは
別の想いと共に
自分の中で
強くなっていた
ハァ
ハァ
今 俺を
突き動かしているのは
その想いだ



……芳野さん
——……
…確か岡崎だったか…?
——どうした?
知り合いか?
以前組んだ事があったんです
芳野さん
頼みがあります
結論はひとつ



――……
なんだ
――俺を
芳野さんとこでやとってください！
渚を自分の力で守りたい

CLANNAD
-クラナド-
オフィシャルコミック


第21回
～明日への決意～



お願いします！
俺を…芳野さんとこでやとってください!!
ドクン
ドクン
ドクン
——ああ…
ドキン
言っちまった…
そりゃ驚くよな
いきなり…
笑われるか？
…それとも
怒鳴られるか——
ドキン
どうでしょう親方？
うん
いいんじゃない？
あっさり
親方!?
ガーンッ
——という話ですが
…まぁなんだ
こちらとしては助かる
どうせ人手不足だしな


…きつい
仕事だぞ
はい
でも 決めたんで
――それじゃ
来月からだ
よろしくな
岡崎
スッ
――っ
はいっ


——え
お仕事…変えるんですか？
ああ…来月頭からな
…それで部屋も借りてこの家を出ようと思ってる
そうですか…
パン屋のお仕事合わなかったでしょうか…？
ちが…!!
——いや ちがう そういう事じゃないんだ
俺 ここの生活は好きだよ
早苗さんもオッサンも俺の事考えて守ってくれてるのがわかる
——でも それじゃダメなんだ
このままじゃ 俺 腑抜けた人間になっちまう


知らないまま
だつたなら
ずつとこうして
いただろう
もう
堪えられなかつた
…朋也くんが
そう言うなら
仕方ないです
けれど
外の厳しい現実を
見てしまつたから
この家を
出て行ってしまうのは
さびしいですが——
ああ
それで渚に
話があるんだ
聞いてくれるか——…?
話…?


渚
俺と一緒に来てくれないか？
…俺 お前と いれば きっと なんだって頑張れる
辛くなってしまったら いつでもここに戻ってきていい
いてくれるだけでいいんだ
――けど俺
辛い思いなんかさせないように頑張るからさ
…な
渚


――はい
わたしも朋也くんと一緒がいいです
朋也くんと一緒ならわたしも頑張れますから
ぽんっ
――ありがとう
じわ…
これで大丈夫どこだってやっていける
う…安心したら涙出てきた
渚が俺を必要としてくれたから
それが生きていく理由でもかまわないと思った



歯車はきしみをあげて　回っていく
回しているのは　俺の想い
——人の想いだ
——……
早苗さん　あの…　お話があるんですけど…


お話…
改まってなんでしょうかっ
あ…
言い出しづらい…
——じ
実はですね…
はい？
カロ…
——…
オッサン…
ゴくっ
——じゃあこの家を出て働くんですよね…？


…はい
実はもう次の仕事も
部屋も決まってて…
…すみません
早苗さん
俺は渚を
連れて行ってしまう
すみません…
…それじゃ
寂しくなりますね
そんな…
謝らないで
ください
でも…
あの子は
朋也さんと会えて
強くなりました
それなのに
ふたりを
止めるなんて
できませんよ
大丈夫
あの子が朋也さんを
好きでいるように
私も朋也さんの事
好きですから
早苗さん…
もちろん
秋生さんだって
そうですよ
え…
!!?


マジっすか…
あの人が一番の難関なんですが…
どよ〜〜
…という事は秋生さんにはまだ…?
ええこれからっす
回想終了。
…ま変に気を回されなくてよかったけどさ
──問題は
この人だ!!
超きまくれなオッサンだからな…
なるべく機嫌のいい時を見計らって──…
な…っ
なんじゃこりゃあああ──っっ
どどーん
タウン情報
な…何?
びくっ
おう小僧ちょっとこれ見てみろやかに座の所!!
ずいっ



星座占い…!?
星座占い
えーと…
「今月のあなたは大切なものを他人に横取りされるかも！大ショックでしばらく寝込みそう」
…マジか
な!? 胸クソ悪いだろ
でも当たるんだよな… ダークプリンセス今日子先生はよ…
ダークプリンセス今日子…
何者だよ
んでおめぇんとこはなんて書いてあるよ?
えーと…
「今月のあなたは軽い身のこなしで他人のものを横取りゲット!!相手は大激怒逃げるが勝ち！」
くわ
おめぇかーーっっ!!!
う…っ 占いだろーがっっ!!
しばらくオレの周りをウロつくなよ小僧!!
あら
話はできました? 朋也さん
く…っ!! ダークプリンセス今日子めぇ…っ!!



そして別の日――……
フフフフーフ
フフフフーフ
フフフフーフ
フフフン♪
くぅ〜〜〜っ かっけーなぁオイ
オッサン…今日はまた超ごきげんだな
言うなら今か…!?
…なぁオッサ――……
ほれ見ろ小僧! 超かっこいいだろ!?
生産中止でレアもんなんだがよやっと手に入ってな!!
特にこのツノんとこたまんねーな!!
ガ○ダム!?
…どれも同じに見えるけどそりゃよかったな…
…んな事よりさ話があんだけど
あ? 話?
ポロッ…
ガシャン
うおおおお!!
ツノが…!! ツノがぁ――っ!!
なんてこったあああ



小僧！ボーっとしてねえで探せ!!
ああ…
この疫病神がぁっ
結局折れた部分は見つからなかった
朋也さん？
くそ…っ!!ガ○ダムめ…っ
ハア…
…なんか今月中はムリな気がしてきた…
どーすんだ入居予定はもうすぐなのに
ハアァァァ…
ぬっ
おい小僧
なに寝てやがる
ヒマならちょっと付き合え


いいか 小僧
真剣勝負だ 思いっきり 投げろよ
ザッ
オレが打てなけりゃ お前の勝ちだ
ああ…
つか 店はいいのかよ
こっから見える
それにこんな時間に
どーせ誰も来やしねぇよ
俺は別に いいけどさ…
つーか 近づくなって 言ったの誰だよ
―たく
…んじゃ 行くぞ
ギ…
ググッ…
おう 本気で来い
よっ


もらったぁあああっ
あ
ふ…オレの勝ちだな小僧…
ガシャ〜〜ッ
——オッサン
今の…
じゃっ帰るか!
そそくさ
こらこらこらこらっ!!
割ったのはアンタだろ謝りに行けよ何考えてんだっ!!
…するってーと何か小僧
野球勝負しててはりきりすぎて思いっ切り打ったら特大ホームランでお宅の窓直撃でした
——とでも言えっつーのか!!?
…その通りじゃねーか


うおおおっ
なんだそりゃ!!
恥ずかしすぎるだろーがっっ
今時どこのハリキリボーイなんだよっ
はいはい 俺もついてってやるから謝りに行くぞ
がしっ
だっ
こんにちは——
あら 古河さん
おう わりい それ割ったのオレだ
あん?
あんた もうちょい言い方ってもんがあるだろっ!!
クス
クス
そうそう ここまで飛ばせる人なんてそういないから
——あらやだ
そうじゃないかって話してたのよねぇ?



これでも結構手かげんしたんだけどよ
クス
クス
それはまた豪快ねえ
はいボール
おうサンキュ
いいかい？次からはもっと捕りやすいボールにしておくれよ
アハハハハハ
ははは
おうよおやすいごようだ
…ああいう事よくあるのか？
あん？
さっきみたいな事だよ
みんな笑って許してくれたろ
――いや
…そういうのなんかさいいなって思ったんだよ
オッサンの周りはいつもそうだ
いるだけで周りの人を笑わせられるって


――できるだろうか
オイオイ
それじゃ オレが ご近所の笑われ者 みてえじゃねーか
――俺もさ
ギュッ
渚の事…
ずっと笑わせて やりたいんだ
俺だけの 力で
連れてって いいか? 渚の事
……
――渚は なんて…?
…一緒に 行くって 言ってくれてる
そうか
なら オレから言うことは 何もねぇよ



条件がふたつ
週に一度は渚とふたりで顔を出す事
あいつの具合が悪くなったら早苗を呼ぶこと それだけは守れ
おめえだって もう家族みてぇなもんだからな
いいか小僧
オッサン――…
俺…渚の事笑わせ続けるからな！
――ああ
しっかりやれよ小僧
オッサンのようにはなれないかもしれないけど――…
きっと渚の事だけは幸せにするから


バムッ
……
晴れてよかったです
ああ 引越しの日が雨じゃブルーすぎるもんな
バンッ
小僧てめぇ免許をとれ
ムチャ言うなそんな金ねぇよ…
まあいい…てめえの世話すんのもこれっきりだ
車は後で取りに来るぞ
ああ…サンキュ



くそ…
いいなあ
同棲かよ…
自分だって
早苗さんと
ふたりきりだろ…
ブツブツ
——さて
それじゃ
さっさと
運び込むか
俺たちの
部屋に
5月の連休最後の日に
引越しをした
今日から
正真正銘
渚とふたりの
生活が始まる
不安は——
ないと言えば
ウソになるけれど…


コポコポ
お疲れさまでした朋也くん
ふう…
結構早く終わったな
荷物も少なかったですしね
はは…6畳しかないワンルームだからなー…
…でも
ここが今日からわたしたちの家です
——ああ
えっと…こういう時はなんて言ったらいいんでしょう
ここからスタートですから「よーいどん」でしょうか…
は？なんだあいさつか？変だよそれ
だってゴールなんてないじゃん
…あそうですよね


…よろしく
お願いします
だな
…はいっ
わたし 今日から
誓いを立てます
これからの
わたしが
強くいられるように
――わたし
古河渚は
もう
泣きません
どんなに辛くても
頑張って
乗りこえていきます
――渚


――でも 泣かないって 嬉し泣きのときは どうするんだ？
えっ
ガマンするのは 悲しいときだけで いいさ
でないと 嬉しいとき ガマンしてたら 喜びが減るだろ
あ そうですねっ
ではもう一度 やり直しです
えっと
わたし 古河渚は もう 泣きません
辛くても 頑張って 乗りこえていきます
――でも 嬉しいときだけは 泣いてしまうかも しれません
そんなわたしですが よろしくお願いします



――ああ
よろしく お願いします
渚がいる
――それだけで 不安なんて どこかへ消えてしまう
先の事は わからないけれど
ようやく俺は 地に足をつけて 歩いていける 気がするんだ
いいか―― 消すぞ?
はい
パチッ


おやすみなさい
おやすみ
…眠くない
明日から新しい仕事が始まるってのに
──きっと
これまでとは
比べようがない程の
厳しさだろう
…本当に
あんな仕事が
つとまるのだろうか
逃げてばかり
いた俺に
渚…起きてるか
──はい
俺さ…
もっと
強くなりたい
わたしもです…
ああ
頑張ろうな
これから


…きっと俺たち1年も頑張ったら
なんにだって負けないくらい強くなってるよ
もう逃げない
はい…！
そのままふたり手をつないで眠った
いつまでもその気持ちが消えないように――…

CLANNAD
－クラナド－
オフィシャルコミック


第22回
～街～


くぁ…
なんか…あんま寝た気がしねぇ…
ボー
まあ…初仕事前日だったからな…無理ないか…
…ん…
おはようございます朋也くん…
ああ…おはよ
…つか完全に目ぇ覚めた
ドキドキ


よく寝られましたか?
ああそこそこな
つか悪いな起こしちまって
渚はまだ早すぎるだろう寝ててもかまわないぞ?
いえ平気ですこのくらい
でも…
わたしがそうしたいんです
朋也くんが仕事に行く所ちゃんと見送りたいです
もぐ…
そっかよ
ガツガツ
はいっ
ごちそうさん
ボチボチ行ってくるな


あ でも
時間——…
初日だしさ
ちょい早めに
行っとくよ
——と
渚はまだ
早いだろ？
時間まで
寝てろよ！
ビシッ
はい
いってらっしゃいます
すぅ…
ピ
——っし!!
ザッ


ガチャッ。。。
じろっ
………
…おはよう ございます…
す
おはよーす
…え―――と…
だらだら
お 岡崎 来たな



よ…芳野さんっ
何変な顔してる
ほら これに着替えろ
あ 作業着っすか
お前のだ この奥で着替えろ
ロッカーは 空いてるのを 適当に使え
は はい
ガサ
ガサ
えっと ロッカー…
新入りかい? ヨシさん
ああ
ずいぶん若いみたいだけど…
どうだい? 見込みありそうかい?
…さあ どうだろうな
一ヶ月くらいはもってほしいもんだな
全くだ
ハハハハ
丸聞こえだっての…
バン
着替えました 芳野さん
ああ 着替えたか
ああ 岡崎くん 似合ってるね



親方さん
うん 見ちがえて見えるよ
ありがとうございます
君には芳野くんが色々教えてあげる事になってるから
わからない事とか彼に聞くようにね
はい わかりました
…しかし若いよね いくつだっけ？
あ 18っす 今年19で…
ー
ーー…
ブロロロロロ…
ーーふう 何か何やら…
詳しい説明もナシに現場か…
まぁ芳野さんも親方さんも優しそうだから そこは安心だな…


…親方も 言っていたが 見ちがえたな
え そうすか？
ああ 前に会ったときは ただの世間知らずの 子供に見えた
…今は どう見えるんですか？
そうだな… 大人になろうと あがいてる 子供に見える
結局 子供なんすね
ああ 同じだ
だが 真剣さが 違う
——ああ それと



1日で辞めるのだけは
やめてくれ
あれやられると萎える
――…
やらないっす
真剣ですから
ブルル…
ああ
ここっすか?
よし…
ここからだ
ここが俺の
スタート地点…
ボヤボヤ
するな
岡崎っ!
現場についたら
メットを被れ
さっきも
言っただろ
二度言わせるな
は…はい
…いきなり
怒られた…
なんか
別人みたいだ


これ持っていけ
──っと
!?
ズシッ
…何が入ってるんすか…これ…
街灯だ
ひとつ5kgはゆうにあるからな
今からこの街灯をあそこに設置する
取り付けは俺がする
お前はハシゴの反対側から支えながら見てろ
支えながらって…そんな簡単に…
…返事は?
はいっ
それからひとつ注意だ
──なんすか?
なるべく落ちるなよ


ゴ!!ゴオッ!!
グラグラするな しっかり押さえろ!
はい…っ
――なこと言ったって 足場だって 不安定だし…っ
支えながら こっちを見ろ
はいっ
最初は 見る事からだ
目で見て 体で覚えろ 岡崎
はいっ


ぐたーっ
ぜェ ぜェ
——おい もう 疲れたのか？
いえ… あと どのくらいで 終わるんですか？
あとは このボルト部分を しっかり固定したら 終わりだ
あ じゃあ それ 俺に やらせてくださいよ
いいから 見ていろ
それ ちゃんと 締めたら いいんですよねっ
そのくらい 俺にだって できます
…そこまで 言うなら やってみろ
はいっ
えーっと ボルト——
ボルト——
ヤマザワ


これか…
とりあえず全部力一杯締めりゃいいんだろ
そのくらいの力あるよな俺だって
よ、
は、
――……
終わりました芳野さん!
ちゃんと全部締まってるんだろうな?
え? ええ…はい
力一杯締めましたから


そこで見ていろ
ギシッ
あ…
――…
ガッ
ガシッ
結局ボルトは半回転するほどゆるんでいた
岡崎 俺のやってた事が見えたか
――はい
…でも あんなに力一杯締めたのに…
カンッ
!


だから 聞いただろ 本当に わかってるのかって
お前は できると言った だから俺は 仕事を任せた
ひとつひとつ 見て 真似て 覚えろ
もし 自分の 設置した街灯が 落ちたら どう思う?
その下を 自分の大切な人が 歩いていたとしたら?
絶対に 嫌です
いいか この仕事に 失敗は許されない
間違えたら おしまいなんだ


焦るな
だが急いで確実にやれ
――はい
…よし
今はそれだけわかっていればいい
最初から完璧にできる人間なんていないんだ
――行くぞ
今日はあと4件だ
…げ
ただいま…


おかえりなさいです
…朋也くん!?
悪い 座らせてくれ…
大丈夫ですか?
どっか
ああ…大丈夫…
ただ疲れてるだけだからさ…
夕飯の準備手伝えなくてごめんな…
いえ 朋也くんは休んでてください
すぐにできますから
……
疲れて帰ってきても
俺を待っている人がいる
渚の存在が有難かった


ガチャ…
おはよう
ございます…
ギギギ
ズキン
ズキン
お来た
どうだ？
しんどいだろ
今日も頑張れよっ
ギャッ
ポン
湿布だ
多少の気休めに
なるだろう
外用薬
こ…
この……っ
ーーっ!!
はっはっは
岡崎
これでも
貼っとけ
あ…
すいません
わざわざ…


気にするな
俺もここに入ったばかりの頃そうなった
芳野さんが!?
おはようございます!
ぎくしゃく
ポッ
——あれ?
昨日と同じ場所なんですか?
ああ 最近は単発の方が少ないからな
今日は向こうだ 行くぞ
ズキン
ああくそ…痛みで体がついてこねえ…
ゼェ
ゼェ
キツイ…
しんどい…
ズキン
…サボって寝てたい——…
はっ
ズキン


——何を……！
寝ホケた事言ってんだ俺は……!!
真剣にやらなきゃいつまでたっても子供のままだ
体で支えろ落ちたいのか!?
いえっわかりました
くそっ
両腕を使え！
なんでそんなやりにくいやり方でやるんだ！
くそっ
はいっ
どうした？そのくらいは持てるだろ!?
————っ
ズキン
ズキン
はい…っ
こんちくしょおおおっ!!



――よし
今日は終わりだ
片づけて
帰るぞ
はい…
ちょっとは
慣れたか？
はい…？
いや
なんでもない
！
おい 岡崎
見ろ
――あ…
黒木書店


この辺りは夜暗かったからな
これならここに住んでる人も喜ぶだろう
——そうっすね
自分の手によって街が変わってゆく——……


――それが
どういう事なのか
俺はまだ知らずにいた
朋也くん！
大丈夫ですか？
朋也くん
――あ…
ごめんな
帰ってきた
ばっかなのに
え…
具合が悪いよう
でしたら
お布団
しきますか？
ヤへ…
一瞬
寝てた


いやホント ただの疲れ だしな…
話を聞くくらい いくらだってー…
ありがとう ございます 朋也くん
でも 今日は 早めに 休んでください
そして その分 明日 元気になって くれた方が嬉しいです
…わかった
そうするな
ちくしょう
自分のふがいなさに 腹が立つ
渚の事を 守りたい
もっと喜ばせて やりたいのに——…
バサ…
朋也くん?
す…
パチッ
おやすみ なさい
ちくしょう


変わりたいって
気持ちは
強くなった
自分だけの力で
渚の事を
支えてやれるくらい
なんだって
自分の力で
できるように
ぷ
あれ?


…気のせいか？
昨日までより体が軽い…
そっか…
ようやく体が追いついてきた……！
岡崎 ケーブル20cm
荷台から持ってきてくれ
ぴやっ
え…ケーブルってどの――…
さっき説明しただろこの場合は…
は はいっすみません
体が慣れたら次は頭の方か…
こっちの方がキツイ…
ガチャ
ただいま――
おかえりなさいです
いい匂いだな
なんか手伝うよ
え…本当ですか？


――えへへ
嬉しいです
ドキン
――…
このくらいで
喜びすぎ
だっての
えへへ
だって
嬉しいです
しばらく
渚の笑顔を
見ていなかった
気がした
笑わせるって
言ったのにな 俺――…
あ…
そういや
オッサンとこに
顔出しに行くのって
明日だっけ？
はい
お母さんに
連絡しておき
ました


早苗さん何か言ってた？
お父さんなら…
オッサン？なんて？
いつでも帰ってこいって…
もちろん断りましたわたしの家はここですからっ
ああ…冗談だよなわかってる…
オッサン…
ゴゴゴゴゴ…
まぁ…でも久しぶりだもんな
渚？楽しみだろ
はいっ
ここ一番の笑顔
…やべぇ俺オッサンに怒られるかもしんねぇ…
はは
朋也くん？


ただいま
です
どもー
ドサッ
いや…
そんなはず
ない…
これは
幻なのか…？
ガバッ
——まさか…
渚なのか…っ!?
会いたかった
ぞう——!!
渚ぁぁあっあ—っ
…
俺もいるぞ
オッサン
チッ
気のきかねぇ
男だな
せっかくの
父と娘の再会に
水差すんじゃ
ねぇよ
たった
1週間しか
経ってないだろっ
なんの騒ぎ
ですか？
秋生さん
あ
早苗さん


……渚……
!?
まさか…
そこにいるのは
渚ですかっ!?
はっ
そういうのは
いいですから!!
あれ
バレました?
ちなみに
秋生さんの
作戦です
渚を
ひきとめよう
作戦です
クス
クス
…わかり
ますよ
ふたりとも
暮らしの方は
慣れましたか?
ええ
それなりに
頑張ってますよ
渚もいて
くれてますし
はい
ふたりで
頑張ってます
そうですか
それより
お母さんたちは…
その…
わたしがいない分
大変だったり
しませんか…?
そんなに心配
しなくても
大丈夫ですよ
そうだぞ
渚
家の事は
気にするな
まぁ 小僧に
嫌気が差したら
いつでも戻って
きて いいからな



嫌気が差すとかあるわけないですっっ
オッサン 殴っていいか?
あ… 渚がいなくて大変だって言えば…
秋生さんがふたりっきりになるとイタズラしてくるので困ってるんですよ
なんだよ あんなのかわいいもんじゃねーか
ぶっ
!?
ほんとにやめてくださいよスカートめくりなんて
もう
いいじゃねぇか 減るもんでもなし
す… スカートめくり…
あれだ… 要するに男はみんなエッチなもんなんだよ…
な 小僧
同意を求めんでください
渚も変なイタズラされたりするだろこいつによ
しねぇよっ!!
キッパリ
そんな事しないですっ 朋也くんは絶対にそんな事できない人ですからっ
——そうか… 悪い事聞いちまったな…
誤解っす!!!
ハハ…



ふー………
あいかわらずだな… この家の人たちは…
チャッ
──お 小僧 店番してるのか
ああ…
むーーん
……
ボリ ボリ
──で
結局その辺どうなんだ 不能なのか オイ
…あのな… …その 俺は 男としては 正常だぞ…
一応…
嘘つくなよ てめぇ… 渚が言ってた じゃねーかよ
そりゃ あいつの 言い方が悪い
…つーことは何か まだあいつに 手ェ出してねぇって 事か!?
来たっ
ストレート!!


…っかー！ありえねぇ!!
同棲までしてるクセによ
うっせーな！大事に思ってんだよ悪いか！
――でもよ あいつもよ もう今年でハタチになるんだよな…
あ…
早苗だってそのくらいの歳にはもうあいつ産んでたし…
だから…俺はいいと思うぜ
ポン
朋也くんやっちゃえ
朋也くんやっちゃえやっちゃえ！
この人は…っ自分の娘を襲わせようとしている……っっ!!
ドドドドドド
ガチャ
あ
おふたりでなんのお話ですか？やっちゃえとか聞こえましたけど
いやっなんでもねぇ!!
そうだぞっ特に渚には一切関係ない話だ!!


あ…もしかしてエッチな話してましたか
ちっ
あんたのせいだぞ
お父さん朋也くんに変な事吹き込まないでくださいっ
ぷんぷん
もうっ
朋也くんがスカートめくりなんて真似したらどうするんですかっ
安心しろ娘よ その時にはまくるスカートもないからな
コラーー!!
何言ってんだあんた!!
ふたりとも気をつけてくださいね
はい また来週です
おう 小僧 忘れもんだ
え?
エロ本だ持ってけ
ヒソヒソ
アホか…っ いらねぇよ…!!


おやすみなさい—
おぅ
あ——楽しかったな
はいっ
お前ずっと笑いっぱなしだったもんな
はい
朋也くんとお父さんが変な事ばかりするからです
クスクス
あ…お母さんから料理をたくさんおすそ分けしてもらいました
明日はごうかですね
えへへ
朋也くんもお父さんから何かもらってました
…大したもんじゃないよ…


暗いな この辺の道は
大丈夫か?
あ はい…
…俺さ 仕事で街灯設置とかしてるじゃん
はい
やってる時は特に何も思わなかったけどさ
――こういう暗かったとこが明るくなるならやってよかったと思うよ
――…
きっと朋也くんがお仕事したところは喜んでる人がたくさんいるはずです
ああ…
そうだといいな
…かといって自分の通る道は暗いままだもんな
明るくすればいいのに
街灯つけないんですか?
いや なんか そういうのって勝手につけたらダメなんだってさ
へぇー


なんでもさ、条例とかで
なんとかかんとか
………
──朋也くんかっこいいです
え？いきなりなんだよ
えっとっ
今急にそう思ったので言ってしまいましたっ
なんだよそれ…
ほら冷えないうちに早く帰ろうぜ
あ…はい


変わってゆく
街も
人も
何もかも
何もかも
変わらずには
いられないんだ

CLANNAD
-クラナド-
オフィシャルコミック

第23回
～上がらない右手～




ザァァァァァ
とん
とん
それでは
いってきますね
朋也くん
すみませんが
お昼は適当に
冷蔵庫の中のもの
食べちゃってください
コキ
ああ
大丈夫だって
気をつけて
いってこいよな


はいっ
いってきます
いって
らっしゃい
バタン
ザァーー…
——ふっ
いつもなら
仕事に出てる
時間だな…
今日の天気は雨
朝 営業所から
電話があった
雨が酷い日は
仕事にならない
よって 今日は
休みなんだそうだ
う〜ん
しかし
休みつっても
工期が延びる
わけじゃないし…
こりゃ
明日は
キッツイぞ…
ピッ
まぁ
それは
それとして
ヒマだ…
やる事ないし
テレビでも
見てるか…



……誰も
いないいんだよな……
もや…
――今なら…
あの
シークレット
ゾーンにも
手が届く…!!
※イメージ画像です
古い家特有の家鳴り→
ピシッ
ドキーン
…………
変態かっ
俺は……っっ!!!
うおおおおおお
ゴロゴロゴロ
何もかも
ヒマなのが
悪いんだ…!!!


早く帰ってこい…っ
渚――…!!
渚
渚
くしゅんっ
――…?
ザワ
ザワ
キーン
コーン
カーン…
あ
朋也くんっ
どうしましたか?
学校まで
たっ
んいやな
たまたま
近くまで
来たんだ
ホラ 買い物も
行くんだろ?


たまたまって…
こんな雨の中お散歩ですか？
──そうだ
ほら いいから早く行こうぜっ
クスクス
はいっ
じろ
じろ
いつの間にか
休みには渚がいる事が当たり前になってたんだな──…
マルキ
創立者祭？
…そっか もうそういう時期か
はい もうすぐです
わたしのクラスは何もしないんですけど先日 仁科さんにお会いしたら忙しそうにしてました
← 一度家に帰りました。


ふーん
懐かしい名前だな
それで…その…
よかったら今度は観覧する側として
朋也くんにも来てもらえたら嬉しいです
あー…どうかな
仕事がなけりゃいいんだけど…
あ…
休日でも出勤になる可能性もあるし…
今日みたいな日があると どっかでしわ寄せがなー
ぎゅっ
そうですか…
しゅん
お仕事なら仕方ないですよね…
はっ
わーー！待て待てっ!!



行かないなんて言ってないだろっ
可能性の話だよ
あ…
──今はまだ確実に行けるかわかんないけど
その日は休みがとれるように話してみるからさ
たぶん大丈夫だろ
はい… すみません…
…もう一度
朋也くんともう一度校舎を歩いたり
模擬店を回ったり…
そういう事ができると思ったら嬉しくて
わがまま言ってしまったかもしれないです…
…あのな
そんなの全然わがままじゃないってのっ
ひゃっ!?


もっと
言ってくれて
いいんだからな
渚は
…えへへ
ありがとう
ございます
たくっ
――創立者祭か…
それは 確かに
学校で渚と過ごせる
最後のチャンスだ
できれば また
ふたり肩を並べて
歩きたいと思った
サァァ…



…え
マジっすか？
ああ
今週末あたりから
忙しくなる
大きい契約が
取れたんだ
……
今週末…！
創立者祭が
あるのに…
…大きいって
どのくらい
なんすか？
さぁな…
詳しくはよく
聞いてないが
額が一千万単位だ
いっせん…!?
そんなに!!
ああ
親方が
これまでの実績で
とった仕事だ
無理も
してるはずだ
だけど いつまでも
下請けばかりじゃ
いられないからな
ゆくゆくは
元請けになって
会社だって
大きくしたいだろう


はぁ…なんかすごいっすね…
そうなれば嬉しいですけど…
なるほど
なればじゃない
俺たちがそうするんだ
——はい
岡崎 次の現場の伝票あるか?
え!? あ はいっ
わたわた
えーと…まずは二丁目の——…
俺たちがそうするんだ
——俺が?



芳野さん 清掃終わりました
がちゃ
がちゃ
たたたっ
ああ それ荷台に積んでくれ
はい
あと何件残ってる
えっと… あと4件です
そうか… 時間厳しいな…
俺の手際が悪いせいだ…
どうするんですか？
…そうだな
仕方ない 岡崎
お前 今日はもう何もするな
――え？


あとは俺がやる
お前は俺の指示通り動いて横で見てろ
——それって
親方には連絡したが…
…運が良けりゃ9時前に終わるだろ
…返事は
はいっ
よし行くぞ
要するに ただの足手まといじゃないか



芳野さんの手さばきは思わず見とれるほど凄かった
気づいたら今日の仕事は終わっていて
予想してた時間より早く帰れる事になった…俺のかかる半分の時間だ
――すみませんでした
――…
何謝ってるんだ？
だって今日…俺足引っぱってばっかで…
何もできなくて…
何もできないのは今に始まった事じゃないだろ
気にするな


…気にするなって言われてもな
――くそ
もっと早く…頑張らないと
ズキ…
上がらない右腕がうずいていた
ピンポーン
ガタ…
はぁ――い あらあら どうも〜


どうも こんにちは
あらー わざわざ どうもねぇー
自分じゃ ちーとも わからなくて ねぇ〜
車は 前に停めて よかったですか?
あー はいはい
連絡してた 電工会社の 者ですが
こっちだよー
おじゃまします
こういう 仕事も あるんすね
やる事は 似たような もんだけどな
ぱかっ
なんか最近 よう落ちるんよ 不便でねぇー
ふむ…
――多分 どこかで漏電 してるんでしょう
点検して修繕しますが しばらく停電しても 差しつかえありませんか?
はいはい それじゃ 散歩でも するかねぇ


さてと
岡崎
岡崎！
――あ
はいっ
ボサッとするな
分電盤の点検だ
はいっ



2階につながる箇所でネズミか何かにかじられたんでしょう
漏電してた部分は修繕してますから
ニコ
ニコ
あら〜ありがとねぇ
男手がないからえらい助かったわぁ
いえ…何かあったら また ご連絡ください
ありがとうねぇ――
ペコ
バッ


——たまに
こうやって人の顔が見えるだろ
だからやめられないこの仕事は
——きっと
朋也くんがお仕事した所は喜んでる人がたくさんいるはずです
…そうですね——…
そうなのかもしれない
仕事が満足にできればもっと素直に喜べるのに——…



朋也くん
疲れてませんか?
――え
何?
なんだか元気がないと思います
そうかな…いつも通りだって
ははは
…わたしが
無理言ったせいで困らせてるなら申し訳ないです…
ガタッ
な…何言ってんだよっ!!
――…


あ…
——違う
渚の事とは関係ないんだ…
そう これは俺の問題
俺がひとりでも仕事をこなせるように頑張ればいいだけの事なんだから————…
——そういえば
お前が入ってそろそろ半月くらい経ったか?
はぁ… 2週間くらいですかね
そうか
…ここの現場は玉交換と清掃だったな…


岡崎 ここはお前にやってもらおう
このくらいならもうひとりでできるはずだ
――っは
はいっ
手順は覚えてるな？
大丈夫っす
何度もやった
落ちついてやれば大丈夫だ
――…


ウソだろ…
なんで あんな右寄りに――…
あんなの左手だけじゃ届かねぇ…!!
はしごも右側には立てられない
俺の上がらない右腕じゃあの高さには届かない――…
ガシャ
こういう時はどうしたらいい!?
どうした?
いえ…
考えろ! 他の方法を!
――そうだ 安全帯!
これを使えば最悪でも俺自身が宙づりになる程度ですむ


ギリギリまで
はしごを寄せて
安全帯を固定して
それで
左腕を目いっぱい
伸ばせば――…
ストップ
降りろ
岡崎！
!?
落ちたら
腹筋がいかれる
降りてこい
で…でも
まだ…！
右腕が
上がらないん
だったな
いいから
代われ
そこは
俺がやる


ブロロロロッ
──いつから…
…
いつから
わかって
いたんですか…
何を
その…
俺の右腕が
上がらないって
事です
見ていれば
わかる
なら なんで
何も
言わないんすか…!!
言って
どうにかなる
もんなのか?
治る見込み
あるのか? それ
──いえ…


ならいいだろ
ギッ…
よくないっすよ!!
ずっと黙ってて…
隠してたんすよ
俺…っ!!
落ちつけ岡崎
こんなの…
こんなの
辞めろって言われても当然なのに——
けどお前は努力してたろ
…確かにこの仕事には向かないかもしれない
でもどうにもならない時だって自分でなんとかしようとしてただろ
俺はそれをずっと見てきた


――この人は
そんな
ところまで
見てくれて
いたんだ
――…
ありがとう
ございます…
馬鹿
礼なんて言うな
俺は
礼を言われる
ような事は
していない
――いや
できなかったんだ
お前のせいでな
…え
手伝おうと
思っても
黙ってひとりで
やってたろ
必死な顔
してたから
手伝えなかった
――けど
今後は
俺を頼れ


なんのために俺がいると思ってんだ
これ以上 迷惑かけられないっすよ…
そんなのお前の事で思った事はない
だから遠慮なく頼れ
──でも
俺もひとりじゃ何もできない
仕事だからないいんだ頼っても
──頼っていい…
だから親方やお前たち仲間がいる


――そして
その時には
聞かせてもらおう
礼の言葉をな
――…はい
何を
躍起になつて
いたんだろう
バカみたいだ
なんでもかんでも
ひとりで
背負つている
ような気になつて――
…そうだな
コツ
俺が背負うのは
渚だけでいい
今は
それだけでいい


翌日
あー 岡崎くん いい所に
どうしたんですか？
工期まで人手が足りないんだ
お前土曜日出られないか？
土曜なら出られます
日曜は？
日曜はちょっと…
そのっ できれば日曜は空けてくれるとうれしいっす
いいよいいよ それじゃ悪いけど土曜は出てくれるかい？
日曜は休みでいいから
はい それは構いませんけど …いいんすか？
元々休みなんだから気にするな
いやー助かるよ


え
本当ですかっ!?
ああ
日曜は
気にせず休めって
言ってもらえた
創立者祭
行けるぞ
じゃ…
じゃあっ
模擬店とか
たくさん
回れますかっ
おう
焼きソバだって
腹こわすくらい
食えるぞっ
ははははは
はは…
嬉しいです…
創立者祭に
ふたりで
いられる事に…
何より
朋也くんとまた
一緒に学校に
行ける事が
すごく
嬉しいです


――たくっ
？
わがまま言えって言ったろ
あ そうでしたっ
うれしいです
うれしいです
朋也くん大好きですっ
うおっ!? ラブラブ光線だっ
それじゃあ… 当日はずっと手とかもつないじゃいますっ いいですかっ
あはははは
おうっ ずっとだからな 離すなよっ
その日はふたりともずっと笑っていた
ずっと

CLANNAD
-クラナド-
オフィシャルコミック



第24回 〜機転〜


おはよう ございますっ
ガチャ
――ん？
ぽつねん
あっ 岡崎くん おはよう
親方さん ひとりですか？
芳野さんが 来てないなんて 珍しいっすね
あ
その事 なんだけど ね
実は今日 うっかりしててね…
芳野くんに 別の現場が 入ってたの 忘れてたよ…
……
はぁ… そうなん ですか
んじゃ 俺 伝票整理でも してましょう か？


うーん…
時間もないんだよねぇ…
ちら…
?
…岡崎くんさ
今日の現場のやり方わかる?
——っと…
ザサバサ
…ええと
そうですね
これならわかります
…うん
じゃあ今日は岡崎くんひとりで頑張ってみてくれるかい?
——は?
ブロロロ…
——いや
芳野くんとも話してたんだよ
そろそろ岡崎くんなら大丈夫なんじゃないかって
——…
現場へは送るから
芳野くんが着くまで頑張ってみてよ ね
そーか
だからこの前…


今日の現場は――……
大丈夫 今までどおりやれば 問題ない
芳野さんはいないけど 手順はしっかり 頭に入ってる
怒られまくったし
――……
よし
気合い入れて いくかっ


岡崎!
あ 芳野さん! お疲れ様です
どう なってる?
はい! 玉交換と清掃だったんで 交換 通電チェックと 終わらせましたっ
清掃は?
もうすぐ 終わります!
そうか お疲れ


ドキ
ドキ
――あの
芳野さん…？
また何か
やったか…!?
…まぁ
通電したなら
問題ないだろ
片付けは
済んだのか？
…あ
はい
…よかったな
早く帰れるぞ
明日 学祭
なんだろ？
帰って
ゆっくり
するといい
行くぞ
はいっ
！
はいっ！


だんごっ
だんごっ
ただいま——っと…
だんごっ だんごっ♪
…夕飯はだんごなのか？
おかえりなさい
今日はぶたさんです
安かったので
………
ならだんごじゃなくてぶたっ ぶたっだろ
ええ⁉
そんな歌ないですっ
だんごだからかわいい歌なんです
ぶたさんだとヘンですっ
ぶたさんもかわいいけど
だんごだからいいんですっっ
何故こいつはだんごの話になるとムキになるのか…
…ごきげんだなー お前
だんごっ だんごっ
それはそうです
明日は創立者祭ですからっ


明日 一般開放は 10時から だそうです
わたしは9時には 学校へ行かないと いけませんので ――…
わかった んじゃ 門のとこで 10時に待ち合わせな
えへへ… 待ち遠しい です
…ああ 俺もだ
よし! そんなら今日は 早めに寝るぞ!
はいっ
その分 明日は 目一杯楽しんで やろうなっ!
そうと決まれば 早く飯だなっ 腹へった〜〜〜
うふふ
ぶたさんで 力つけて 行きましょうっ
明日は 久しぶりの デートだ


にこ
にこ
それでは先に行ってきますねっ
ああ 1時間後な
つーか目赤くないか?
あ…これは
その…楽しみでなかなか寝つけなかったものですから…
…気をつけろな
はいっ行ってきます
カチ
カチ
さて…そろそろ準備するか…


チャ
…もしもし岡崎ですけど
あ 岡崎くんかい？
親方さん？おはようございます
えっと…どうしたんですか？
ちょっと聞きたいんだけど 昨日 現場で何かあったか？
昨日？
なんか不具合があったらしくてね
朝から芳野くんが出てるんだよ
何かあったか聞いても自分のミスとしか言わなくてさ…
何か聞いてないかと思って
…いえ…何も…
そう…何かあったんだろうなぁ…
昨日の現場――……
――あの
俺 ちょっと今から現場まで行ってみます！
ガーッ
いや岡崎くんが行く事はないと思――……
えっ!?
ガチャッ
…芳野さんがミスをするはずない…!!



ミスしたとすれば俺だ!!
…まさか芳野さん…
俺の事をかばって――…!?
――渚…!
くそっ
バタ
バタン
俺の責任だ
ごめん渚
きっと すぐに終わらせて行くから……!!


たっ
だっ
たっ
たーっ
よ…っ 芳…野 さん…っ!!
…おっ
ぜー
ぜー
ぜーッ
お…つかれさま…です…っ
…お前の方が疲れてるだろ
…俺のやった所だ――
…あのっ 芳野さん…
何しに来た 岡崎
帰れ
すいませんでした…っ!!
帰らないっす! 俺のミスです!!


後始末…俺にさせてください！
…ダメだ
お前のする仕事はない早く帰れ
で でもっ
俺のせいじゃないですか…！
お前じゃない
最終的にミスを見落とした俺の責任だ
だけど…っ
――…
大事な用があるんだろ
お前言ってたよな
今日は学祭で彼女が楽しみにしてるって
待ってるんだろ彼女――
早く行ってやれ


行けないです…!!
俺の仕事で
俺のミスなのに
芳野さんに
任せて
帰るなんて
できないっす
…わからん奴だな お前
それにっ
…もし俺が
このまま放り出して
行ったとしても
絶対 心から
楽しめないです
俺 あいつに
嘘はつけない
ですから
…あいつも
この事知ったら
悲しみます


だから
俺…
この作業はしないといけないんです…！
──…
馬鹿だな　お前
…25の低圧絶縁管
6m持ってこい
今すぐ
…渚──……
さっさと
動け
は…
はいっ！



パ
パン
たったっ
…わたしの方か早かったみたいです
始まってすぐですしそうですよね
えへへ
ぷ〜ん
焼きトウモロコシ…
お腹がすいたら朋也くんと食べるのもいいかもです
まず どこに行きましょう
模擬店をまわって…部の展示とか見て手もつないでたいです
…時間足りるでしょうか
早く会いたい



創立者祭
わたがし
くじ
――あ…


――渚あっ
朋也くん……
――…
あ…
…ごめん…


…謝らないでください
——謝るとしたらわたしの方です
朋也くん最初から言ってました行けないかもしれないって…
それなのにわたしがひとりで
期待して…困らせて…
朋也くんに無理させてしまいました
だから…
わたしの方こそわがまま言ってごめんなさいです
なんだよ
なんでそんな事言うんだよ


——そう させたのは 俺か
謝ったり するなよ
こんなの 全然 わがままなんか じゃない…
…そう でしょうか
だって 当たり前の 事だろ…
一緒に いたいって 思うのは さ
だから俺… 嬉しいし——
そうしたいって…
こんな言葉しか 出てこない
こんなの 今の俺が 言えた義理じゃ ないけど
——でも
…違うか
俺が そうしたいんだよ 渚の事 喜ばせたいからさ
…だから これからも 我慢しないで 言ってくれよ
ああ



俺が それ
叶えてやるから
全部
本当の気持ちだ
……
ごそ…
──朋也くん
お願いが
あります
…なんだ?
ポン
これを
一緒に
食べてください


お昼に買ったので もう冷めて しまってますけど…
朋也くんと 食べようと 思って…
――あ… ああっ
ずっ
トウモロコシな! もちろん 食べるぞ
ちょうど 腹へってる しなっ!
渚も そっちのやつ 食べろよ
――はい よかったです
大きいので 夕飯が入らなく なっちゃいそう ですね
いいさ せっかくのお祭り なんだからな
…うまいぞ コレ



帰り道
ずっと手を
つないだまま
たくさん話して
たくさん笑った
今日の1日を
とり戻すように
翌日――…
ドキン
…昨日の事…
みんなもう
俺のミスだって
知ってるよな…
ドキン
ああ…
おはようっす
お早いな
ぼうず
…ええい!!
ガチャッ
おはようございますっ
昨日は
すみませんでしたっ!!


あれ？
聞いたぞ 昨日わざわざ出たんだって？ お疲れさん
わら
わら
最近のにしちゃ根性あるじゃねえか 見直したぜ
なんでも走って現場まで行ったんだってなー 若い 若い
お疲れさま 岡崎くん 昨日はすまなかったね
はっ
あ…あの ちょっと… 芳野さん！ どういう事なんですか!?
驚いたか岡崎
昨日の事を俺からみんなに話しておいた
…あれ 芳野さん 笑ってる？
で…でも どうして…？
あ？
だって俺…
昨日ミスした事で怒られるもんだと思ってたのに…


ミスは誰だってする
問題はそれをどうやって取り戻すかだ
俺は昨日お前ができる最大限の事をやったと思った
だからみんなにも話した
話を聞いてみんながどう思ったかは…お前にもわかっただろう
で でもっ元はと言えば俺がミスさえしなけりゃ…
そうすれば芳野さんだって休日を潰さなくて済んだのに…!
お前がミスするのには慣れてるさ
それに休日に直したのはお客さんの為だ工期は昨日だったからな
まだ納得いかないか?
———……
納得って…
迷惑かけたのは俺なのに———
———もしお前がまだ自分のせいとか申し訳ないとか
そう思ってるなら覚えておけ
ドキ



この仕事を続けていくのならいつか必ずお前にも新人がつく
俺に何か返したいとか考えてるなら
その時その新人のフォローをしてやれ
それがお前の仕事だ
俺の仕事――……
…そしてそれが
ファサッ
愛だ
――でも少しだけ
わかったような気がする


俺は たくさんの人に助けてもらいながら ここにいる
まだ半人前で おぶわれた子供に すぎない
――でも いつかは
ひとりで 自分の足で 立って歩かなければ ならない時がくる
だからこそ その時までは――
…はい…っ! 覚えておきます…っ
これからも… 一生懸命 がんばりますっ!!
何 泣きそうに なってんだ
見込み あると思うぜ
がんばれよ ぼうず
――いつか 思い返す事があれば 今日が本当の意味での 仕事始めなのかもしれない


そして
いろんな事が
軌道に
乗り始めた
仕事は
あの日から
順調
夜になれば
渚とたくさん
話をして
疲れを
ふきとばせた
朝早いのは
辛かったけど
渚の寝顔を見ると
やる気がわいた
怒られながら
少しずつ
できる事が増えていく
それを
見守ってくれる
先輩や仲間たち
自分の居場所は
ここだと思えた


そして
渚はと言うと———…
ガラッ
こんにちはっ
……ん？
古河さんと
仁科さんじゃないか
とりあえず入って
座ってくれ
私のことは
気にしないで
いいぞっ
うき
うき
コーヒーでも
入れますねー


どーん
ずー……
あの…急に押しかけてしまってすみません
ついノリで…
お邪魔じゃなかったですか？
全然大丈夫ですっ！
またいつでも遊びに来てくださいね…
そうそう私もよくここに来るんだ
ここに来る生徒は限られてるしなもってこいの場所なんだ
もってこいの場所…ですか？
ああ…いや生徒会の連中がな私はもう引退したってのに…
いつまでも頼ってもらっちゃ困るからな
引退前にもたまに顔を出してくれてましたよね
こらそういう事は内緒だと言ったろ
クス
クス


——渚は仁科たちと話す事が多くなったらしい
部活をやってた連中が引退したおかげで会う時間も増えたのだろう
そして週に一度の古河家訪問
こんにちはーっ
早かったですねっ 渚 朋也さん
あれ? オッサンいないんすか?
きっと公園ですすぐ戻ると思いますよ
ホントにあの人は…毎回毎回…
そうそう ふたりにぜひお願いしたい事があるんです
なんですか?
久しぶりに新作パンを作ったので試してほしいんですっ
新作パーン


えっとこっちから「よっちゃんパン」「梅パン」「こんぶパン」です
どうぞっ!!
…ご飯がほしくなりそうなパンっすね…
はっ
じぃ…
いつも通りの何気ないやりとり
ちっ…見つかっちまったなら仕方ねえ
あ お父さん
逃げてくだろ あんたっ
心地いい時間はあっという間にすぎていく
気がつけば
夏がすぐそこに来ていた
朋也くん
[CLANNADオフィシャルコミック④・完]



オマケまんが
午後のお茶会
ふと。
そういえば今どうしてるんだあいつは
はい？誰ですか？
岡崎だ岡崎
仲良くやってるのか？
ははいっ朋也くんはかくかくしかじかで
ほう電気工をやってるのか
――でも
そうなると社会人と学生のお付き合いは色々と大変じゃないですか？
え？
ほら 時間が合わなくてなかなか会えなかったりとか…
む確かに立場の違いが恋愛の壁になるというのは心あたりがあるような…
よく聞く話ですねっ
あ…大丈夫です…
…その…
かあ
同じ家なので毎日会ってます…


へぇー
そうだったんですか
えぇぇぇー!!?
そっ…それは世間一般で俗に言う同棲というやつか…!!
あはい すみません…
いいつからなんですか…?
えっと…実は5月から…
す…すごい…っ
大人の女性だったんですね…
いえ…そんな…
なんだこの裏切られたような感覚は…
ズキズキ
コポ。。。
古河さん…! その話詳しく聞かせて下さい…!!
いや…っ!
とりあえず岡崎を呼んでくれ早急に!!
話がしたい!
む…無理です〜
わっ
――きっと



それだけ岡崎さんが古河さんのことを必要としてたってことなんでしょうね
ニッコリ
ね？
——いや…
まぁそりゃそうだろうけどな…
テンション
ていうかもっと驚くとかないのかっ！
同棲だぞ同棲！一緒に住んでるんだぞっ
それはちょっと前から
はぁ…そう言われましても…
私の友達の話なんですが
学生で結婚したり妊娠してたり○○で×××ったりしてましたから…
だから結構平気です そーゆーのっ
——…
最後の
最後の…
宮沢…最後の——…
はい？
いや…なんでもない…
この後宮沢有紀寧伝説が流れたとか流れなかつたとか…

クラナド よんこま



第22回その後
渚もいるってのに
マジどうしよう…
どっさり…
朋也くん それ 何が 入ってるんですか?
びくっ
!?
たっ ただの本だよ…!
ああ…
本ですか
何の本ですかっ 気になります
気にするな
こんなとき あいつがいれば…
春原… 俺 なんだかお前に すげえ会いてえよ…
それっ エロ本押しつけたい だけですよねっ!?



大きくなぁれ～


4巻です。
ありがとうございますっ
そして
祝アニメ化!
…今更ながら
ものすごい作品を描かせて
頂いてるんだなぁ…と
ブルブルしております…
漫画版は漫画版として
楽しんでいただけるように
がんばります!
2007.09
みさき樹里
でした!
4巻は
"朋也仕事編"
と、個人的に呼んでます。
芳野さんは誰よりも
作画に時間がかかる…
★Special Thanks★
おおらくん、まりも、霧さん、
いっちゃん、みつなさん、
みなもさん、百田くん、
Keyスタッフ様!
担当の高辺さん
喜多村さん、千原さん
応援してくれる皆様
本当に
みなさんの
おかげです!!
ありがとうございます!

CR COMICS

CLANNAD（クラナド）オフィシャルコミック④

●2007年10月14日　初版発行

著者●原作：Key（キー）
漫画：みさき樹里（じゅり）

発行者●石川順恵
発行所●ジャイブ株式会社

〒160-8565 東京都新宿区大京町22-1
●編集／TEL:03(5367)2744
●営業／TEL:03(5367)2725　FAX:03(5367)2709
●注文センター／TEL:049(274)1653　FAX:049(259)5244
●ジャイブHP:http://www.jive-ltd.co.jp

印刷所●図書印刷株式会社
電植製版●株式会社オノ・エーワン

Printed in Japan
ISBN978-4-86176-440-0
初出●月刊COMIC RUSH 2007年1月号～2007年6月号掲載
デザイン●sio
制作協力●有限会社パルプライド（喜多村・和田・田中・勝村・遠藤）

こんなCLANNADは嫌だ!



主人公が親父

ISBN978-4-86176-440-0
C0979 ¥562E

ジャイブ
定価 本体562円 +税



高校を無事に卒業した岡崎朋也。しかし恋人の渚は長期の病欠のせいで、また三年生をやり直す事になってしまった。知り合いが少なくなった学校に寂しさを隠せない渚。一方、渚の家のパン屋を手伝いながら暮らす朋也は、思わぬ再会をきっかけに、自立への思いを強くしていくのだった。